

平成 29 年度 依存症研修会（精神保健福祉課題別研修）・講演会実施要項（案）

- 1 目的 地域の医療・相談機関に従事する者が、アルコール等の依存症当事者および家族に対し、適切な指導・援助ができるよう、依存症に関する知識の習得及び技術の研鑽を図ることを目的とする。
今回も昨年度に引き続き、災害後に特に心配されるアルコール関連問題を含めた依存症への対応力の充実を目的に開催する。
- 2 主催 熊本市こころの健康センター
- 3 開催日時 平成 29 年 11 月 20 日（月） 10：00～12：00
- 4 場所 熊本市総合保健福祉センター ウェルパルクまもと 1階 大会議室
[住所：熊本市中央区大江5丁目1番1号]
- 5 内容 「アルコールなどの依存性のある物質に関連する問題を
持つ人と関わるコツ」
講師 三重県立こころの医療センター
長 徹二 氏
- 6 対象者 市保健福祉関係、教育関係、医療機関、地域包括支援センター、精神保健福祉に関する業務に従事されている方、依存症関連問題に関わる業務に従事されている方等 150名程度
- 7 申し込み
11月13日（月）までに、別紙申込用紙による FAX または E-mail にて担当までお申し込みください。なお、申し込み多数の場合、後日調整をお願いすることがあります。
- 8 その他
お車でのご来場はご遠慮ください。公共交通機関のご利用をお願い致します。

講師紹介

長 徹二（ちょう てつじ）先生

精神科医師 三重県立こころの医療センター 診療部次長

【略歴】

2002年 奈良県立医科大学医学部卒業
奈良県立医科大学精神医学教室入局
奈良県立医科大学付属病院、天理よろづ相談所病院を経て現職

日本アルコール・アディクション医学会評議員
日本精神神経学会 専門医・指導医
同学会 サマースクール実行委員・アンチスティグマ委員・指導医制度委員
精神保健指定医
日本医師会認定産業医
認知症サポート医
International Society for Biomedical Research on Alcoholism (Membership committee)
日本若手精神科医の会(JYPO) 多職種連携・教育委員会委員長

【活動】

病院で精神疾患の臨床に携わり、研究や教育にも関与している。中でも2004年には飲酒運転に関する実態調査を行い、それ以降飲酒運転対策の中に医療と行政・司法・警察などの協力が必要であることを論説文、学会シンポジウム、そして学会の飲酒運転対策プロジェクトで主張している。2009.2には内閣府の「常習飲酒運転者の飲酒運転行動抑止に関する調査研究」委員会のヒアリング委員も務めており、2013.7に制定された三重県飲酒運転ゼロをめざす条例の県議会公聴会では代表参考人も務めた。

普段は病院勤務だが、臨床研究や自治体の依存症家族教室や院外講演も併せて取り組んでいる。そして、厚生労働省管轄の事業や研究にも参加しており、依存症リハビリ施設の職員研修や家族支援研修の企画と運営にも参画している。

例えば、アルコール依存症の伝統的な断酒 3 本柱に関する調査や依存症を抱える人の根底に潜む生きづらさに関する多施設研究などを実施し、その結果から臨床に還元すべきところを同世代の仲間とともに模索している。

また、東日本大震災後は定期的に石巻市での医療支援を継続しており、現地でのアルコールに関連する問題に関する研修を計画し、その内容を発表したことで、平成 28 年度の日本精神神経学会の国際学会発表賞を受賞している。

厚生労働省科学研究費研究事業の分担研究「アルコール依存症の実態に関する研究」では責任者を務め、「市民のためのお酒とアルコール依存症を理解するためのガイドライン」の作成(2016年3月)に中心的に関わる。

FAX 096-366-1173

こころの健康センター 相談支援班 中岡 宛 ※送信票不要

平成29年度 依存症研修会・講演会

参加申込書

平成 年 月 日

所属名 ()

電話 ()

氏名	職名	職種

平成29年11月13日(月)までにFAXまたはE-mailにてお申し込みください。

※ 申し込み多数の場合、後日調整をお願いすることもあります。

※ お車でのご来場はご遠慮ください。公共交通機関のご利用をお願いします。